

## R-THP-COPの治療をお受けになる方へ

### ★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。( )内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2～21日目
吐き気止め＋ アレルギー予防	 30分	お休み
リツキサン (リツキシマブ) mg	 時間	お休み
ピノルビン (ピラルビシン) mg	 30分	お休み
オンコビン (ビクリスチン) mg	 5分	お休み
エンドキサン (シクロホスファミド) mg	 2時間	お休み

※尿が赤くなる場合があります。血尿ではありませんが、尿が出にくい場合や残尿感がある場合はお知らせ下さい。

アレルギー予防としてリツキサン投与30分前までに抗アレルギー薬、解熱鎮痛薬を服用します。  
点滴投与 日日から5日間、プレドニン錠を服用します。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

### 白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、

治療開始後 7～14 日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

## 貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

## 血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

## 〈ご自身でわかる副作用〉

### 悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

### 便秘

便が硬くなって排便しづらくなることや、お腹が張ることがあります。

⇒便を軟らかくしたり、腸を動かすような薬を使って排便をうながします。

### インフュージョン・リアクション

投与中から投与後、アレルギーに似た症状が出る場合があります。『寒気』『熱っぽい』『発疹が出る』『息苦しい』『めまい』などの症状がおこった時は、すぐに医療スタッフにお知らせ下さい。

### 脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2~3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

### 末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

### 口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

### プレドニンによる副作用

胃が重くすっきりしなかったり（胃炎）、眠れなかったり（不眠）、血糖が高くなる（高血糖）などの症状が現れることがあります。

⇒症状が気になる場合は、主治医にご相談下さい。

## イレウス

腸閉塞により激しい腹痛、吐き気が起こることがあります。

⇒症状ある場合は早めに主治医にご相談ください。

## 血管外漏出（壊死性）

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。すぐに適切な処置をしなければ、潰瘍ができたり、ひどい場合には皮膚が壊死してしまうこともあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、ただちに医師・看護師にお知らせください。外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。ご自宅に帰られた後も、

点滴部周辺に違和感を感じたり、症状が軽快しない場合は病院にご連絡ください。

### ※B型肝炎の急激な悪化

B型肝炎ウイルスに罹患している方で、リツキサンの治療中や治療終了後に、病状が急激に悪化することがまれにあります。血液検査等で十分に注意をしていきますが、治療中や治療後に、強い倦怠感、黄疸（目や手足、尿などが黄色くなる）などの症状が現れた場合は、すぐにご連

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。

- ★「動くと息が苦しい」、「疲れやすい」、「足がむくむ」、「急に体重が増えた」（心障害）
- ★「ふるえ」、「悪寒」、「38℃以上の発熱」、「肌のほてり」、「紅潮」（敗血症）

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師